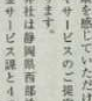
2023年 年頭所感

（順不同）

損害保険ジャパン株式会社

安心を弊社代理店と共に



浜松支店長
安川誠高

新年明けましておめでとうございます。

昨年発生しました台風15号等の災害により、被害を受けられた皆さまに心からお見舞い申し上げます。

昨今、気候変動による自然災害の激甚化、人口構造の変化、デジタル技術の進化による産業構造やビジネスモデルの変化など多くの変化が起きています。弊社は弊社代理店と共に、このような変化から生じるリスクに対して、お客さまが少しでも安心・安全・健康を感じていただけるよう、保険商品やサービスのご提案に取り組んでおります。

弊社は静岡県西部地域に2つの保険金サービス課と4つの営業店を配置し、弊社代理店と共に、地域にたくさんの笑顔と活力あふれる確かな明日をお届けすることを目指して参ります。

皆さまのご健勝とご多幸を祈念いたしますと共に、本年も弊社・弊社代理店への変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

東京海上日動火災保険株式会社

いついかなる時も皆様に

浜松支店長
田島忠和

新年あけましておめでとうございます。

弊社浜松支店は1990年の支店開設以来、保険代理店と共に地域のお客様のご支援を賜りながら6年実に成長を遂げて参りました。この場を借りてあらためて御礼申し上げます。

さて、昨年9月の台風15号では当地でも多くの方々が本災害に見舞われるなど、全国各地で自然災害は頻発・巨大化の一途を辿っています。また少子高齢化に伴う人口動態の変化、テクノロジーの目覚ましい進展により、お客様を取り巻く環境は大きく変化しています。

こうした先の見えない環境下におきましても、弊社は人とデジタルの力を合わせて「保険の力」を高め、想いを込めて安心と安全を提供し続けることで、万が一に遭った時の「いざ」はもちろん、新しく挑戦する時の「いざ」まで、「いついかなる時も」皆様の頼りになる存在でありたいと考えています。

今後とも、皆様のご理解と変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

日本生命 浜松支店

お客様本位で保障責任全う

理事支社長
松平好治

あけましておめでとうございます。

日頃より格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申しあげます。

昨年は、新型コロナ第7波が猛威を振るい、当社を含む生命保険業界にとって、その真価が問われる1年でありました。

非常に多くの入院給付金請求をいただく中、今現在も社内のリソースを集中して対応を進めておりますが、お支払いまでに通常より長い時間を要しており、お客様に大変ご迷惑をおかけしております。

新年も、あらゆる業務において「お客様本位」を追求し、「確実な保障責任を全う」すべく取り組んで参りますので、引き続きお力添えいただけましたら幸いです。

未だ新型コロナ収束の目処は立たず、不安な日々が続きます。こういった環境下だからこそ、全職員一丸となり「Pure Ho Piece の活動にて静岡県の皆様に情報と笑顔をお届けして参ります。

皆様のご多幸を祈念しております。

本年もよろしくお願い申しあげます。

第一生命保険株式会社

一生涯のパートナー。

浜松支社長
北藤拓也

新年あけましておめでとうございます。

弊社浜松支社は本年4月支社開設40周年を迎えます。開設以来、多くのお客さまのご支援を賜りながら、地域に根差した「一生涯のパートナー」として努めてまいりました。この場を借りて改めて御礼申し上げます。

新型コロナ感染症をはじめ、少子高齢化やデジタル化などの環境変化により顕在化する社会課題に対し、4つの体験価値（保険、資産形成・承継、健康・医療、つながり・絆）を、お客さまに対面・非対面でご案内することで、地域や社会に対して「将来にわたり、世代を超えてwell-being（幸せ）に貢献し続けられる存在であること」を目指してまいります。

各自治体との連携協定による健康増進や地元企業とのコラボ取組みと同時に、地元の皆さまへの情報発信に力をいれてまいります。

本年も変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

明治安田生命保険相互会社

フェーズチェンジ

浜松支社長
片倉浩彰

新年あけましておめでとうございます。

当社は2021年4月に新たな中期経営計画をスタートし、10年後に目指す姿「ひとに健康をまちに元気を」最も身近なリーディング生保へ」の実現に向けた成長軌道の確保「フェーズチェンジ」に取り組んでいます。

特に2019年度から本格展開している「みんなの健活プロジェクト」では「私の地元応援募金」を実施し、西部地区の自治体を中心に寄付を行うとともに、自治体との連携協定を進めており、地域の皆さまの健康増進に貢献できればと思っております。

当社の経営理念である「確かな安心を、いつまでも」を地域の皆さまへお届けできるよう努めてまいります。

新型コロナ感染症は終息の兆しが見えず、先行きが見通せない状況ではありますが、今年こそ元の環境に戻ることを願い、皆さまのご健康を心より祈念しております。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

株式会社 石野リスクコンサルタント

節目の年を柔軟に対応

代表取締役
石野不二夫

新年あけましておめでとうございます。

日本には節目となった「変革の波」があるといわれています。第一は関ケ原の戦い、第二は明治維新、第三は敗戦。そして今まさに第四の波が押し寄せています。

・燃料はガソリンか電気か、ガスか水素かで賭っているのか

・給料は銀行振込から、現金や社会保険料を引いてスマホ決済アプリへのデジタル払いへ

・世界平和に対する脅威と悪影響

・続く感染症との戦い

・自然災害の脅威

世界の災害の5%は日本で発生すると、ある学者が述べています。その中で生きるため、日本人特有の「和を以て尊しとなす」精神が生まれたといわれています。

今こそ従来の日本特有の経営形態を見直しつつ、この変革の波に柔軟に対応し、適切な利潤を確保しながら持続可能な代理店経営を考えていきたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

株式会社 INFLUX

洋上風力で地域貢献

執行役
武田泰

明けましておめでとうございます。

浜松市沖での洋上風力発電建設を目指す専業ベンチャー企業「インフラックス」です。市内に支店を立ち上げて3年目。昨年は様々な事を成し遂げる事が出来ました。

①海洋調査を実施し、貴重な調査データが得られました。地元漁協の皆様には感謝の念に堪えません。②沿岸部地区の自治会連合会の皆様に向けて説明会を行いました。期待の声も聞かれ、有難い思いで一杯になりました。③環境配慮書について、県や市の専門家の皆様方から貴重なご意見を賜りました。今後の影響評価に生かして参ります。④地元の皆様や企業の方から数多くのご連絡を頂き、関心を持って頂きました。

インフラックスは洋上風力発電事業を通じて地域貢献をしたいと考えています。カーボンニュートラルの切り札であるだけでなく、地域経済発展、地域活性化が見込まれる洋上風力。地域の生活や環境に配慮し、漁業との共生を行いながら、徐々に推進して参ります。ご期待下さい。

佐藤典子舞踊研究所

75周年、次世代に繋ぐ道を

主宰・現代舞踊作家
佐藤典子

新年おめでとうございます。

昨年12月に開催しました、私の舞踊生活75周年記念公演～ここに生きる～ダンダンシス 道（藝田市民文化会館かたりあ）には、多くの皆さまのご支援とご来場をいただき、心から御礼申し上げます。

終戦直後から、自らの意思で選び歩んだ舞踊家としての道。良き師に出逢い、良き友人、仲間、スタッフに恵まれ、沢山の生徒に囲まれた幸せな歳月でした。そして今、私が生きてきた無形の財産を次の世代に少しでも繋いでいくこと、それが私に課せられた使命です。

今年は75周年事業の後半戦です。1月15日（日）には、プレスタワーの21世紀倶楽部で、SPAC芸術総監督の宮城聰氏の文化講演と、私が作舞した小作品、メゾソプラノ歌手とピアノ演奏によるグレードの高いサロン公演を企画しています。また7月には、再び藝田市民文化会館で同門会生徒たちが会員集合するフェスティバル公演を行います。次の時代を生きる「力」となりますよう、ご期待いただければ幸いです。

（企画・制作／静岡新聞社地域ビジネス推進局）